



なる本 税理士 なる本シリーズ 10

著者/訳者名 落合孝裕/著
出版社名 週刊住宅新聞社
発行年月 2007年06月
サイズ 209P 19cm
価格 1,365円 (税込)



進むべき道の目標設定は 早めに！！

会計事務所スタッフ
平井満広 (ひらいみつひろ) さん

●会計で社会貢献を！ ——税理士をめざした理由

以前はJRA関連の外郭団体に勤めていました。不景気の影響もあって業界全体も厳しく、将来に不安を感じて資格を取ろうと考えたのです。そのときまたま思いついたのが、簿記でした。

まずは簿記学校に通って2年間で3級から1級を受けました。3級から2級まではすんなり合格しましたが、1級については、3度目の正直で合格することができました。1級を勉強していたところに講師の言った「皆さんには『会計を通じて人を幸せにする』使命があります」という言葉に感銘を受けて、「将来は会計のプロになって社会貢献したい」と熱烈に思うようになりました。

簿記1級に合格すると、税理士試験の受験資格を得られることもあって、自然な流れとして、税理士をめざすようにな

ったのです。

●理論がすべて ——勉強方法

いよいよ本格的に税理士をめざすということで、前職を退職しました。その後、現在の会計事務所にスタッフとしてお世話になることができました。社会人と税理士試験の受験生という2足のわらじのスタートです。

通学する学校も少人数の簿記学校から、出題のブレに左右されないだろうという理由から、大手の学校に変えました。

最初の2年間で簿記論、財務諸表論に合格しましたが、3年目は法人税に落ちてしまいました。やはり両立は厳しいなと悟り、一時は事務所を退職しようとして考え、事務所の所長に相談しました。

所長自身も社会人との両立の経験があり、とても理解のある方だったので、「1年間だけならお給料を2割カットすることで勤務日数を週5日から4日に調整する」と応援してくださり、仕事を続けることができました。もちろん、その後は通常勤務に戻りました。

とにかく私の場合は、理論のテキストは片時も離さずに、クライアントのところへ訪問する際の往復の電車の中や、空いた時間に必ず日を通すようにしていました。税理士試験はとにかく理論がすべてです。そこで差がつくといっても過言

ではないと思います。

受験する順番は、ほとんどの人がそうだと思いますが、会計科目から受けました。簿記1級に合格していましたので、これは、けっこう楽にこなすことができました。学校の予想問題集をひたすら解いていました。とにかく、コンスタントに問題を解くということを重視し、週1回2時間は必ず計算問題を解きました。さらに、学校の宿題は出勤前の1時間で大体片付けていました。

税法科目の場合は暗記が勝負です。授業のときに、キーワードにはすぐマーカーを塗って色分けし、文節ごとに分けて覚えていました。その際、文章としてどうつながっているのか、理解しながら覚えると効果的です。

そして、まだ勉強に慣れる前は、自分でテキストを1題ずつ録音して聴いて覚えていました。そのときも抑揚をつけて録音することがポイントです。これはいいですよ。声に出すことで、覚えやすくなります。寝ているときにもテープをつけっぱなしにして睡眠学習していました。慣れてからは、ひたすらテキストを持ち歩いて目読していました。でも、直前期にはまたテープを聞きました。インプットに関しては、こんな感じで進めていきました。

インプットするだけでは、効果がないので、次の講義の前に必ず1回は書く機会をつくり、アウトプットしました。覚

テップへのきっかけとなったのかもしれない。

もっと視野を広げたい、会計という視点から中小企業の経営をよくする手伝いをしたい、という気持ちが強くなり、転職することを決めたからです。4月からの会社はメーカー系列のグループ会社で、独自の会計手法を提案し、コンサルティング的な仕事をする予定です。

● 努力すれば受かる

——税理士をめざす人へのメッセージ

税理士といっても道は一つではありません。私のように、全く異業種でも、会計の知識と事務所での経験を生かして、どんどんほかの道へ選択肢を広げることのできるのです。

ですから、受かった後、自分はどのような仕事をしたいのかという目標設定は早いほうがいいです。そうすれば、それに向かって辛い勉強もがんばれますし、夢に近づくことができるのです。努力すれば必ず受かります。

えたものを覚えた順にそのまま書いていくのです。必ず本番を想定し、時間配分を考えながら書いていました。

● 目標は紙に書こう

——日々の過ごし方

映像を見ると、せっかく覚えたことを忘れてしまいそうだったので、テレビは極力見ないようにしていました。その代わりに、日々の情報はラジオやインターネットで収集していました。

あとは音楽を聞いたりしていました。それから、アタマが働かなくなったら、寝ていました。神経を休める意味でも、かえって何もしないほうがよかったみたいです。

友人との付き合いは控えました。勤務状況を軽減してもらってからは、短期集中だったので、少しの間だけだと自分に言い聞かせながらたえました。

目標を紙に書くのはお勧めします。もちろん、「必ず合格」というのもいいのですが、たとえば、「テレビは見ない」などと書いて壁に貼っておくと、効果的です。

● 新しい分野へステップアップ

——今後の展望

会計事務所では、法人顧問、経理指導、月次監査、記帳代行などを行い、20社ほどのクライアントを一人で受けもっています。クライアントの業種は多種多様です。それが次のス

合格までの道のり

■ 学習スタート 社会人4年目

平成14年 簿記論合格

平成15年 財務諸表論合格

平成17年 法人税法、所得税法合格

平成18年 消費税法合格（官報合格）

1日のスケジュール

■ 平日

・ 5:30 起床
・ 7:00 喫茶店で計算問題の宿題
・ 8:00~17:15 会計事務所仕事(昼休みも理論暗記)
・ 18:20~21:30 授業(休み時間もテキストにマーカー)
・ 22:30 帰宅
・ 22:30~24:30 計算問題

■ 土曜日

・ 8:00~10:00 学校の教室で理論暗記
・ 10:00~17:00 授業
・ 18:00 帰宅
・ 22:00 就寝

■ 日曜日

・ AM 家事
・ PM 宿題と理論中心の勉強